

掲載報告概要

通巻 59 号 Vol. 11. No. 1

東京国際空港における地盤安定工事について (その 1)

東京国際空港では、昭和 33 年度よりオリンピックを目標に空港拡張工事を実施しているが、空港敷地周辺は軟弱地盤で施設を造る前に地盤の安定改良工事を実施する必要があった。この一連の地盤改良工事のうち特に圧密沈下に対する強制圧密安定工事の一例を、その計算と実際について報告したものである。(石野)

軟弱地盤における円形スベリ面法による基礎破壊の臨界円について——試算によらない臨界円の求め方——(その 1)

円形スベリ面法による基礎破壊の解析は、断面が整形で基盤が均一な強度を有する場合、比較的簡単であるが、断面が不整形か、基盤の強度が不均一の場合は、一つの臨界円を求めるのに、数 10 回の試算をくりかえさなければならない。この労力と時間とを節約するために、ある断面につき、臨界円の位置と大きさ、またはその領域の限界を簡単に求める方法を、理論的解析から見だし、これを室内試験結果、現場の実例によって確かめた。(佐藤)

東京都の舗装設計と路床土調査

道路構造令の舗装の規定に合わせて、東京都では舗装設計基準を作って昭和 34 年から実施している。構造令の規定を実施に移すには、K 値と CBR 法の関係など 2, 3 の点で修正しなければならなかった。またこの基準によって路床土調査を行なっているが、調査試験方法について検討してみた。(別所)

ウエルポイントまたは深井戸を併用する

空気圧入工法 (急速圧密工法) について

土中に圧縮空気を送って間キ水圧を上げ、この被圧水をウエルポイントまたは深井戸で揚水することによって脱水効果が促進されるならば、軟弱地盤の安定工法の一つとして空気圧入工法が成立つと考え、土中に圧縮空気を送った場合の現象を室内実験で調査し、さらに室内実験を手がかりとして小規模の現場実験を行なった。

本文はこれらの実験結果を報告すると共に、実用工法としての可能性について検討したものである。(白井・木沢)

投稿規定

『土と基礎』は会員諸兄からの投稿を歓迎します。この学会誌は、広く技術者に土質工学への関心を深めてもらうこと、現場の工事に有益な資料を提供することを目的としています。したがって実用的な内容の原稿、とくに現場技術者からの投稿を待っています。また理解を深め、実用性を高めるために、内容についての討議、質疑も歓迎しています。投稿原稿には、できるだけその内容を示すような写真 (キャビネ) を添えて下さい。

投稿原稿の分量は誌面の都合上、原則として次の規定を守ってもらいます。(学会原稿用紙 400 字詰 6 枚で 1 ページ)

報 文 4～8 ページ程度 (図、表、写真を含む)

資料・ひろば 4 ページ以内 (図、表、写真を含む)

随想・その他 2～4 ページ程度 (図、表、写真を含む)

学会原稿用紙は編集部あて請求されれば、無料でお送りします。(くわしい執筆要領もついています)

なお原稿の掲載の可否、順序、用語その他の統一については、編集委員会に一任していただきます。

掲載原稿については薄謝を呈します。